公益社団法人出雲市シルバー人材センター

理事会だより

第 48 号　発行:令和 2 年 4 月 30 日

令和 2 年度第 1 回（R2.4.21）理事会の会議状況や決定したことについてお知らせします。

第 9 回の理事会は、理事 9 名中 9 名が、監事 2 名中 2 名が、事務局から 1 名の職員が出席しました。

第 1 回の議事は、報告 6 件（事業実績/業務報告/令和元年度第 1 回補正予算の修正について/正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表について/「同一労働同一賃金」への対応状況について/令和 2 年度事務分担表)、議案 1 件（正会員の承認)、協議 2 件（令和 2 年度定時総会について/財政見込について）でした。

事業実績等について

3 月の受注実績(請負･委任･派遣の合計額)は、2,951 万 1 千円でした。前年同月は 2,913 万 2 千円で前年比は、101.3%となりました。このうち派遣業務の実績は、986 万 9 千円でした。前年同月は、944 万 4 千円で前年比は、104.5%となりました。会員数は、3 月末日現在では、950 名(男 630 名、女 320 名)となり、今年度に入って、49 名の増（男 18 名、女 31 名）となっています。

令和元年度第 1 回補正予算の修正について

2 月の第 8 回理事会で令和元年度第 1 回補正予算について承認を受けましたが、その後令和元年度決算に向け未収金、未払金等計上する中で予算不足が生じたり、補正予算の計上漏れが判明したものがありますが、3 月の理事会には間に合わず、理事長専決にて修正し、今回の理事会で報告しました。

収支状況（3 月末現在)について

3 月末現在で 15,829 千円ほど収入が支出を上回る状況となっています。前年同月では、支出が収入を 12,556 千円上回るマイナスの状況で収支が大きく改善された状況となっています。この理由としては、収入では事務費率を 10%から 15%に引き上げたことによる増 10,775 千円、大社連絡所移転補償費 7,282 千円、生涯現役促進協議会立替金の返還分 7,045 千円などが主な要因です。

また、支出では、人件費が 10,763 千円減となっている一方でその他事業費が 8,121 千円増（生涯現役促進協議会立替金 4,970 千円、大社連絡所移転先整備関係経費が 2,194 千円、修繕費が 596 千円増など)となっており、前年度と比較し、収支合計で 28,385 千円プラスとなっています。

同一労働・同一賃金への対応状況について

1 月から 3 月までに、事業所説明会や事業所訪問により派遣先への説明、情報提供書の取得を進めてきました。この結果、79 事業所と 4/1 で契約しました。同一労働同一賃金を理由に契約が終了したのは 1 事業所のみでした。

令和 2 年度事務分担表

係長昇任があり、それに伴う事務分担の一部変更をしました。

正会員の承認について

3 月 17 日から 4 月 17 日までに受け付けた 30 名(男 16 名、女 14 名)の入会が承認されました。

令和 2 年度定時総会について

今年度の定時総会は、新型コロナウイルスの感染が広がっており、全国に緊急事態宣言が出され、出雲市でも感染が発生している状況であり、今年度の定時総会は、書面議決による方法で実施することに理事会で決定しました。このため、総会の議案書や議決権行使書面等については、5 月中旬頃に発送する予定です。

財政見込について

令和元年度の収支が 16,005 千円、正味財産残高が 35,630 千円で、5 年ぶりの黒字決算になり、令和 2 年度～4 年度の収支も今のところ収入が支出を上回る見込みです。

※理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局へご連絡ください。なお、定員は 8 名です。

次回定例理事会：6 月 17 日(水)
(13:30-16:30 センター会議室)